

【資料編】

目次

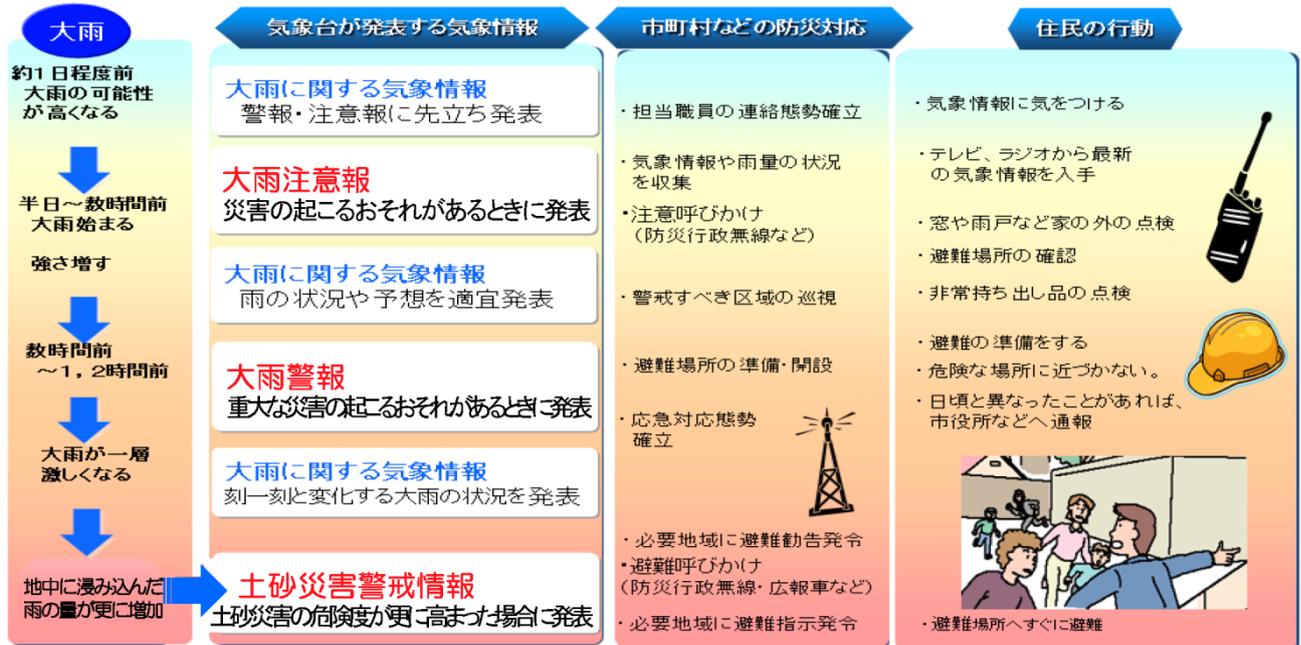
【資料編】

資料 1	気象状況	資-1
資料 2	被害状況	資-3
資料 3	平成 25 年の被害概要	資-4
資料 4	人口、高齢化率	資-5
資料 5	消防団の状況	資-6
資料 6	来島者の状況	資-7

◆まずはじめに大事なお願い  ・地域の危険箇所を確認してください
 ・避難場所や避難経路を確認してください
 ・大島町からの情報や気象情報をよく聞いてください

気象庁は、大雨・強風などにより災害の発生するおそれがある場合、警報や注意報などの防災気象情報を発表しています。町などの防災機関や住民の皆さんにとっていただきたい対応・行動は概ね以下のとおりですが・・・

 危険箇所近くや、避難に時間のかかる方は、周囲の状況に応じた早めの対応・行動が重要です。



※この他、大雨に関する情報として、数年に1度の猛烈な雨(大島町:1時間雨量100ミリ)を観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析)したときに「記録的短時間大雨情報」を発表します。

◆大島町の大雨警報・注意報の発表基準

大雨警報:1時間雨量 70ミリ 大雨注意報:1時間雨量 40ミリ

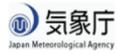
(別途、地中に浸み込んだ雨の量を指数化した「土壌雨量指数」も基準に用いています)

◆観測史上1～10位の値 (大島町元町に設置している気象庁の雨量計)

要素名/順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (ミリ)	525.5 平成25年10月16日	473.0 昭和7年9月12日	419.2 昭和33年9月26日	403.0 昭和56年10月22日	362.9 昭和16年7月22日	342.5 昭和47年7月15日	340.0 平成8年9月22日	330.0 平成2年11月30日	301.0 昭和1年8月4日	298.5 平成25年10月16日	昭和13年11月～ 平成25年12月
日最大10分間降水量 (ミリ)	29.0 平成15年7月24日	27.0 昭和54年10月18日	26.0 平成17年11月6日	26.0 昭和16年7月16日	25.5 平成25年10月16日	25.5 平成18年4月12日	25.5 昭和46年8月31日	25.0 平成22年9月8日	25.0 昭和52年7月17日	23.3 昭和15年10月15日	昭和13年11月～ 平成25年12月
日最大1時間降水量 (ミリ)	122.5 平成25年10月16日	107.5 昭和55年10月14日	98.9 昭和19年10月7日	91.5 昭和45年9月29日	88.0 昭和33年9月26日	84.5 平成5年7月5日	84.5 昭和56年10月22日	82.0 平成15年7月24日	81.0 平成18年4月12日	80.0 昭和36年10月9日	昭和13年11月～ 平成25年12月
月最大24時間降水量 (ミリ)	824.0 平成25年10月16日	712.0 昭和7年9月12日	412.0 平成12年7月7日	403.0 昭和56年10月22日	368.0 昭和47年7月15日	356.0 平成24年5月2日	350.5 平成2年11月30日	346.0 平成8年9月22日	315.5 平成7年9月16日	308.5 平成14年9月19日	昭和46年1月～ 平成25年12月
月降水量の多い方から (ミリ)	1255.0 平成25年10月	1143.0 昭和16年7月	1138.5 昭和7年9月	935.5 平成3年10月	921.1 昭和29年6月	770.5 昭和16年6月	746.5 平成16年10月	740.3 昭和38年6月	728.0 昭和14年10月	716.5 平成元年6月	昭和13年11月～ 平成25年12月

黄色背景色は、平成25年台風第26号に伴う雨が関係している記録

図 住民説明会気象庁資料1

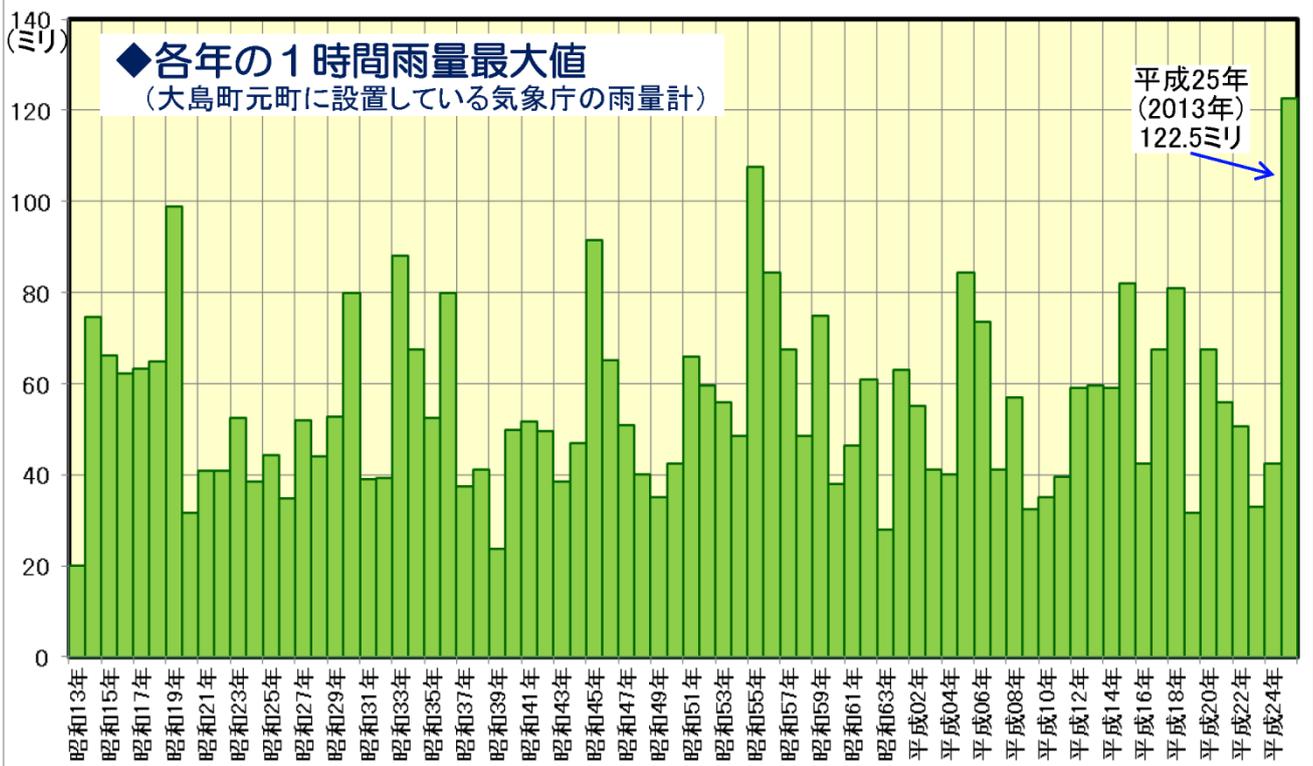


「1時間雨量〇〇ミリ」とはどんな雨？

平成25年12月7日
大島町住民説明会
(気象庁資料)

◆雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 50未満	50以上～ 80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要 都市では下水管から雨水があふれる	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要



◆最後に大事なお願い



隣・近所で声を掛け合って

早め早めの避難行動をお願いします。

図 住民説明会気象庁資料2

表 大島町における主な災害

発生年月日	台風名	大島観測所			伊豆大島における被害概要
		総雨量 (mm)	最大時間雨量 (mm)	降雨強度 (mm/時)	
昭和23年 9月16日	台風18号 (アイオン)	227.1	39.9	(データ無し)	<ul style="list-style-type: none"> ・重軽傷9名、家屋全壊55棟、半壊381棟 ・屋根破損1037箇所、堤防決壊4箇所 ・護岸決壊70m、漁船流失1、漁船破損16 ・その他(電灯・通信線・樹木・農作物被害大)
昭和28年 9月23～ 24日	台風13号 (テス)	119.4	17.2	5.7	<ul style="list-style-type: none"> ・死者1名、安否不明1名、家屋破損9棟 ・道路・堤防決壊2か所 ・その他(通信線・農作物被害大)
昭和33年 9月17～ 18日	台風21号	120	34.3	8.5	<ul style="list-style-type: none"> ・重傷者1名、軽傷者1名 ・家屋全壊1棟、半壊7棟、非住家全半壊5棟 ・道路・堤防決壊2か所 ・その他(漁船に若干の被害あり)
昭和33年 9月26日	台風22号 (狩野川)	448.3	88	18.6	<ul style="list-style-type: none"> ・死者1名、安否不明1名、重傷2名、軽傷14名 ・家屋全壊55棟、半壊49棟、浸水42棟 ・農林被害35,742千円、公共施設被害4,400千円
昭和47年 7月15日	台風6号	342.5	43	18	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田地区で落石 ・波浮地区茶屋下の崖崩れ
昭和55年 10月14日	台風19号	271	107.5	30.1	<ul style="list-style-type: none"> ・人的被害記録なし ・家屋一部破壊1棟、床上床下浸水13棟 ・岡田地区でがけ崩れ発生、道路冠水 ・公共土木施設被害22,600千円
昭和56年 10月22日	台風24号	403	84.5	19.2	<ul style="list-style-type: none"> ・人的被害記録無し ・道路周辺の崩壊(泉津開拓道・泉津湯場泉・飛行場下・岡田泉津間都道) ・公共土木施設被害23,040千円
昭和57年 9月11～ 12日	台風18号	719.5	67.5	28.8	<ul style="list-style-type: none"> ・人的被害記録無し ・家屋全壊1棟、一部損壊5棟 ・道路周辺路肩決壊(岡田地区・泉津地区・元町地区) ・公共土木施設被害167,000千円
平成25年 10月15～ 16日	台風26号	824	122.5	35.8	<ul style="list-style-type: none"> ・死者36名、安否不明3名(平成26年3月1日現在) ・家屋全壊73棟、半壊・一部破損129棟 ・非住家被害236棟 ・停電戸数909軒(被災当日最大時) ・断水戸数約3000戸(被災当初)

出典：伊豆大島土砂災害対策検討委員会報告書(平成26年3月)より抜粋

【平成25年台風26号に伴う土砂災害 被害概要】

◆気象状況

(出典：平成25年台風第26号による被害状況等について(第30報)平成25年11月25日17時00分現在内閣府)

- ・10月10日21時にマリアナ諸島付近で発生した台風第26号は、16日明け方に大型で強い勢力で伊豆諸島北部を通過し、その後16日15時に三陸沖で温帯低気圧となった。
- ・この台風により、東日本、北日本の太平洋側を中心に大雨となった。特に東京都大島町では、1時間に100ミリ以上の猛烈な雨が降り、24時間雨量が824ミリに達するなど、記録的な大雨となった。

<大島(元町)の大雨等の状況>

(平成25年10月14日0時～10月16日24時 アメダス観測地)	
・主な1時間降水量：122.5ミリ(16日3時53分まで)	
・主な24時間降水量：824.0ミリ(16日8時20分まで)	

◆被害の概要

○人的被害(平成26年7月31日現在 大島町)

死者	36人	行方不明者	3人
----	-----	-------	----

○建物被害(平成26年7月31日現在 大島町)

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
被災住宅 (住家=主たる居住家)	50	11	16	77	154
被災家屋 (非住家=別荘、倉庫等含む)	87	17	33	109	246
建物被害合計	137	28	49	186	400
被災世帯数	61	12	19	87	179
被災人数	114	23	28	159	324

※被災世帯数：主たる居住家における世帯のみであり、別荘所有者や倉庫所有者は含まず。

○道路被害(出典：大島の応急復旧に向けた取組について 平成25年12月 東京都)

都道	都道大島循環線(野増地区)で土砂、流木の堆積、路肩等の崩落が発生
町道	出払1号線、岡田泉津黒汐線、元村三原山線(御神火スカイライン)、元町漁港線、橋の本牧場線、泉津開拓、泉津湯場線で土砂の流入、路肩等の崩落が発生

○港湾被害(出典：大島の応急復旧に向けた取組について 平成25年12月 東京都)

港湾被害	元町港、岡田港、波浮港
漁港被害	元町漁港、岡田漁港、野増漁港、泉津漁港

○農林漁業(出典：大島の応急復旧に向けた取組について 平成25年12月 東京都)
農地、農業施設、農作物等

	被害概要	被害金額(千円)
農地被害	被害面積：200a(元町字神達) 被害農家数：3戸	200,000
農業施設被害	栽培施設110棟 栽培関連施設2棟 農業機械2台	34,460
農作物等	被害面積 ・アシタバ(露地)200a ・ブバルディア(施設)57a ・パンジー(鉢物)1a ・野菜類100a ・その他(花卉・切葉類)68a	104,664

○ライフライン(出典：大島の応急復旧に向けた取組について 平成25年12月 東京都)

	ピーク時被害状況	全面復旧完了日
停電	10月18日(金)11時30分 ～20日(日)18時時点：110件	10月30日(水) 11時時点
断水	10月16日(木)：約3,000世帯・約5,000人	11月2日(土)

【人口の状況】

- ・人口状況については67歳人口が一番多くなっている。20代前半の人口が少ない。
- ・大島町の高齢化率は35.5%であり、泉津・野増・間伏地域では40%を超えている。

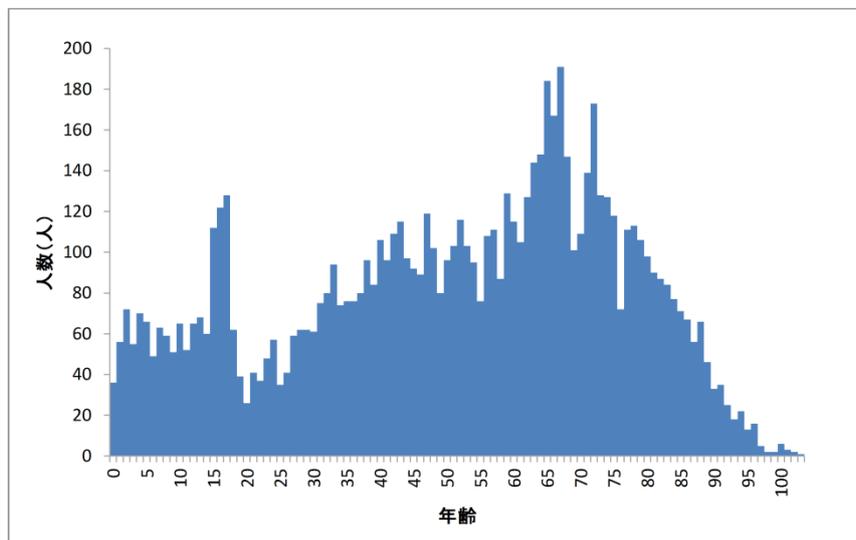


図 大島町における年齢ヒストグラム
(住民基本台帳 2015年8月4日現在)

表 地区における年齢区分別集計表
(住民基本台帳 2015年8月4日現在)

町名	元町		元町字北ノ山		岡田		泉津		野増	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0～5歳	188	5%	37	6%	41	5%	10	3%	11	3%
6～14歳	230	7%	70	12%	83	10%	15	4%	17	5%
15～64歳	1,793	52%	327	55%	416	49%	179	47%	180	48%
65歳以上	1,211	35%	162	27%	315	37%	176	46%	164	44%
計	3,422		596		855		380		372	
町名	野増字間伏		差木地		クダッチ		波浮港		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率		
0～5歳	1	1%	27	3%	24	4%	16	2%	355	4.3%
6～14歳	12	8%	43	4%	35	5%	27	4%	532	6.5%
15～64歳	72	47%	610	57%	387	58%	431	64%	4,395	53.6%
65歳以上	69	45%	393	37%	218	33%	203	30%	2,911	35.5%
計	154		1,073		664		677		8,193	

表 消防団の定員と実員

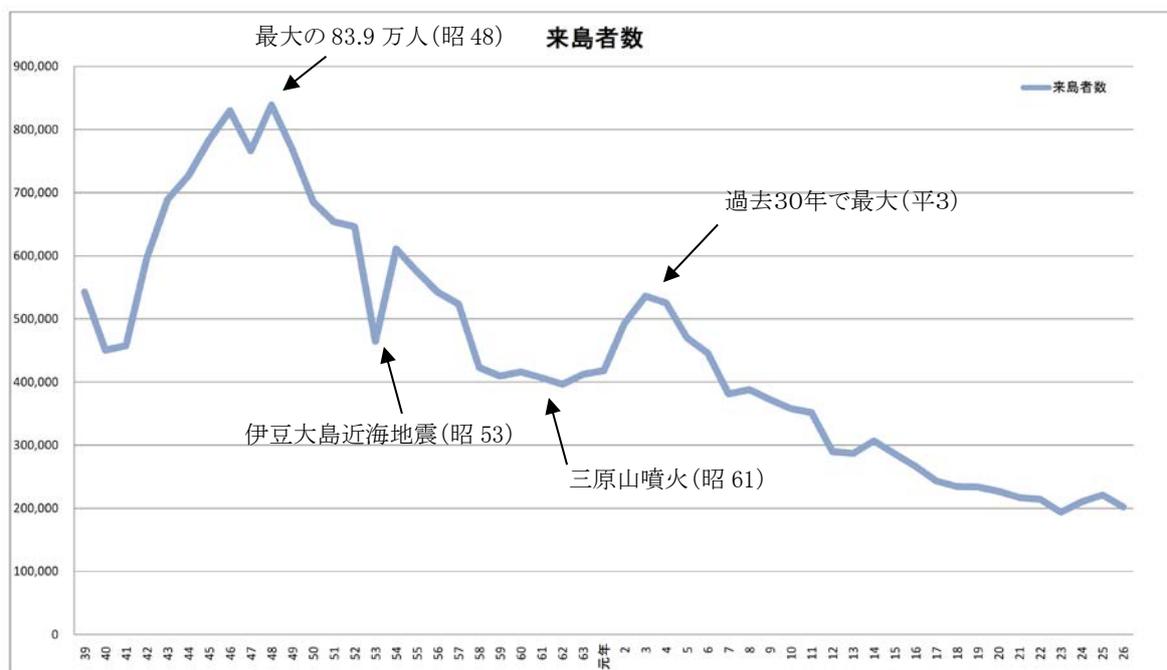
(平成27年5月1日現在)

分団名	役職名	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部	定員	1	2	3	3				9
	実員	1	2	3	3				9
泉津分団	定員			1	1	4	10	14	30
	実員			1	1	4	7	14	27
岡田分団	定員			1	1	4	11	48	65
	実員			1	1	4	9	35	50
北の山分団	定員			1	1	4	11	33	50
	実員			1	1	4	7	20	33
元町分団	定員			1	1	4	14	55	75
	実員			1	1	4	12	26	44
野増分団	定員			1	2	4	14	24	45
	実員			1	2	4	14	11	32
差木地分団	定員			1	1	5	10	38	55
	実員			1	1	5	7	23	37
クダッチ分団	定員			1	1	4	8	26	40
	実員			1	1	4	7	11	24
波浮港分団	定員			1	1	4	10	29	45
	実員			1	1	4	10	25	41
合計	定員	1	2	11	12	33	88	267	414
	実員	1	2	11	12	33	73	165	297

出典：大島町消防団の概要_平成27年度版

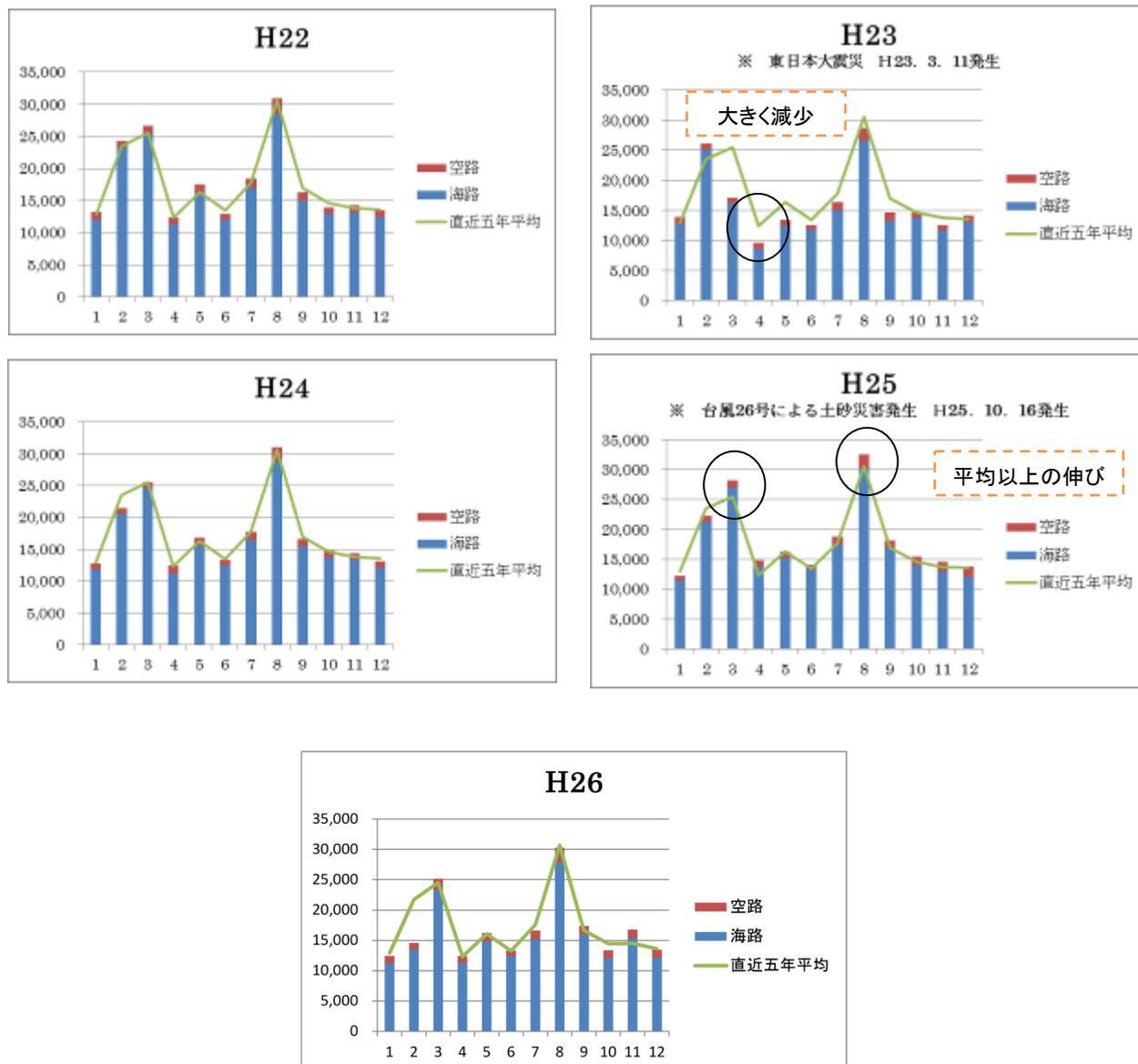
【来島者の状況】

- ・大島町への来島者は、昭和48年の83.9万人をピークに年々減少しており、平成25年は22.1万人（ピーク時の26%）となっている。特に昭和53年1月「伊豆大島近海地震」により激減している。
- ・月別では過去5年平均の来島者のピークは3月および8月となっており、直近5年間の最大では平成25年8月となっており、32,519人（単純な1日平均1,049人）を記録した。



図：観光客数推移（年間来島者）

資料：大島町統計資料



図：過去5年間の観光客数推移（月別）

出典：大島町統計資料